

水・地域イノベーション財団 活動助成部門 一般コース

1

足立区の8つの川をめぐる
バスツアー

2024年12月1日（日）

定員40名

■参加費每人1,500円（資料代、保険代込）

それぞれの川の歴史を知り、足立区の川まちづくりに活かすアイデアを語り合いましょう！

募集中

参加者 22名
スタッフ 3人
大型バス

エコロジー夢企画

2

大人のバス

桜と川をめぐる

3.27 THU

9:00-17:00

1名 5,000 円（資料代・保険料等）

お弁当（希望者）:1,000円

旧中川の桜

参加者 13名
スタッフ 3名
中型バス

エコロジー夢企画

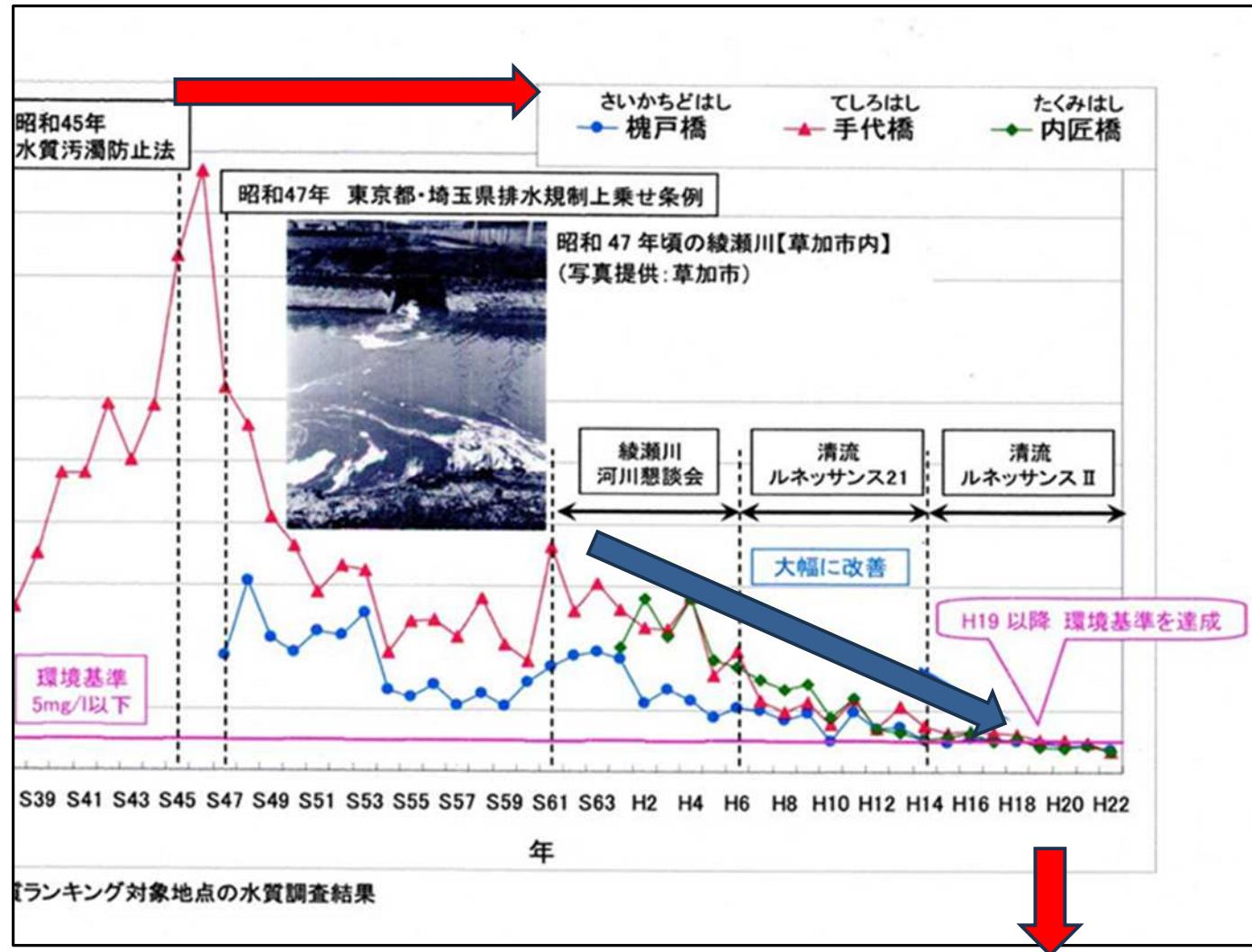
なぜ、川めぐりが必要と考えたのか？



足立区は8つの川に囲まれているのに…

足立区の川はきたない！ というすり込み

綾瀬川 一級河川水質ワースト1 15年連続記録



川を活かしたまちづくりの推進！

花畠川の改修(改悪)工事計画

昭和6年 開削運河完成



貴重な運河の歴史を残す花畠川なのに

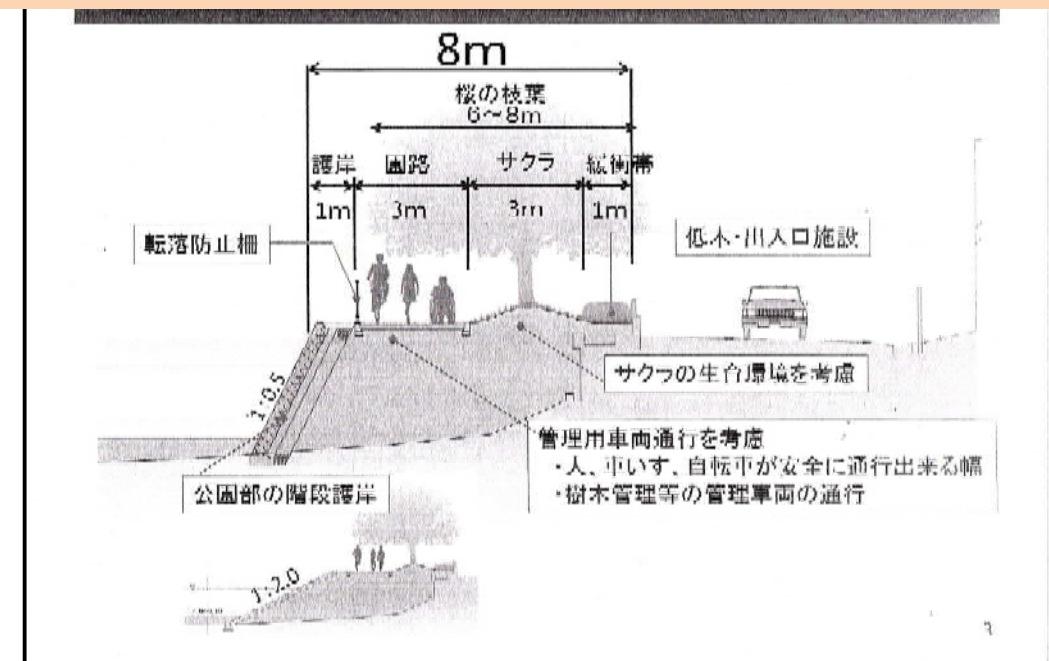


2017年（足立区発表）

31mの水面幅を17mにして
両岸に8mの桜の遊歩道

川を活かしたまちづくりの仲間づくりを！

現在の花畠運河





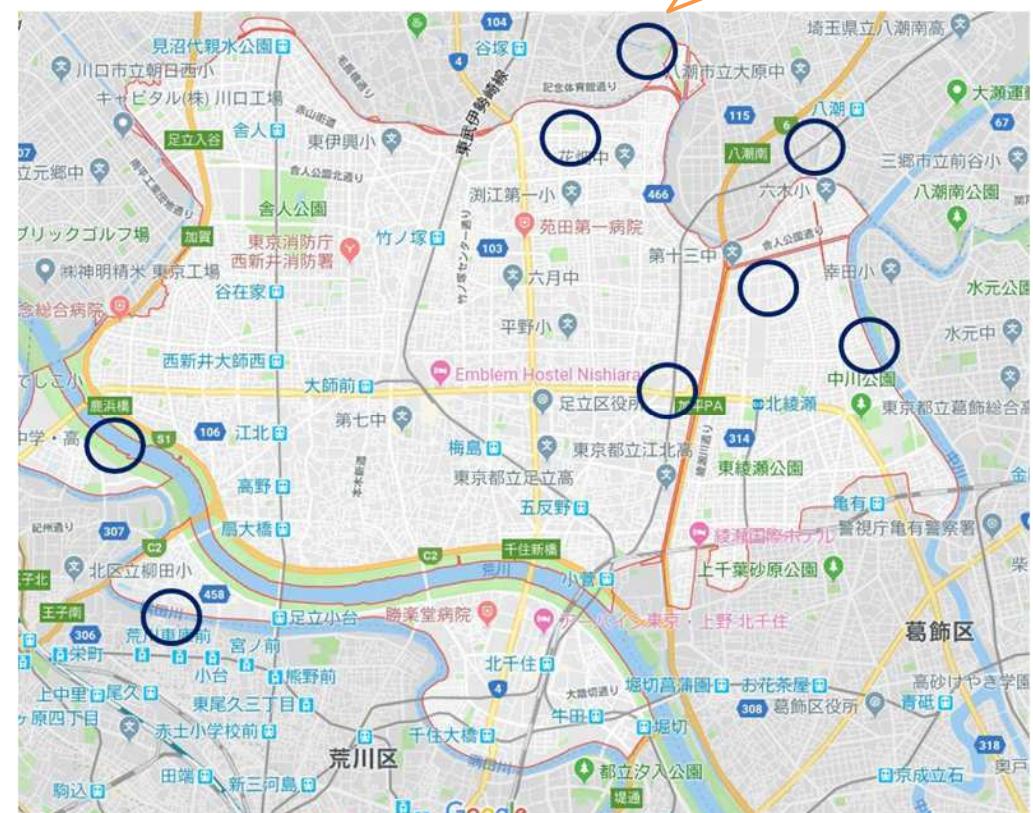
9:00 綾瀬駅前 バス発車

- ①中川 (車窓見学)
- ②堀川 散策
- ③花畠川 散策
- ④綾瀬川 桑袋ビオトープ公園清流館見学
- ⑤伝右川 (綾瀬川・伝右川水質検査体験)昼食
- ⑥毛長川 文教大学前テラス 桜花亭庭見学

**⑦荒川 都市農業公園学習室
プロジェクトWETゲーム「脅威の旅」**

⑧隅田川

17:00 綾瀬駅前 バス発降車 解散



堀川

堀川（がけがわ）は、埼玉県八潮市と東京都足立区の境を流れる利根川水系中川の支流一級河川です。長さは2.1 km、流域面積は9.57 km²。

かつて綾瀬川は、ここを流れて中川と合流していましたが、江戸時代（1624年から1643年）にかけて、水害対策のため流路を変えました。現在の内匠橋付近からまっすぐ葛飾区堀切の中川との合流地点まで開削したのです。それに伴い旧川は堰止められ、葛西用水の水が取り入れられるようになりました。流れがなくなったため、堀小溜井と称されるようになりましたが、1969年一級河川に指定されました。（Wikipedia）

足立区側の自然堤防の岸には、神明・

六木遊歩道が整備され、武蔵野の森を思われる遊歩道になっています。水面は静かでカヌー体験にはぴったりです。



足立区環境政策課作成地図に加筆

中川

中川は埼玉県羽生市に源を発し、大落古利根川、新方川、元荒川、大場川など多くの河川を集めて南下し、東京都葛飾区高砂で新中川と別れます。さらに、中川七曲りと呼ばれる蛇行区間を経て葛飾区上平井で綾瀬川と合流、その後、荒川と平行して流れ、江戸川区で東京湾に注ぐ流路延長約81km、流域面積約 811km²の一級河川です。

中川・綾瀬川流域の低地帯は、地形を生かしたかんがい排水網が整備され新田開発が行われました。中川沿いの集落の多くは、中川に近接した土地沿いに集中しており、自然堤防を利用することで少しでも洪水の危険性から逃れつつ、舟運を利用して、集落を形成していました。

東京府が行った大正10年の調査によると、日に212艘もの航行があり、1年間に下り貨物42,000tの農作物。上り貨物8,000tの雑貨他、人糞尿40万荷でした。しかし、荒川放水路が完成すると、隅田川沿いに貨物を運んでいた船が、遠回りを強いられることが分かり、中川と綾瀬川をつなぐ花畠運河が開削されることになったのです。

中川の桜土手(六木)70年前



中川の桜土手 千ヶ崎惣六画 1948 (S23)
足立区立郷土博物館 千ヶ崎家資料より

盛んだった舟運 —農産物を江戸へ—



埼玉から東京都心へ
42,000t/年

→ 船は日に合計212艘 ←

東京都心から埼玉へ
8,000t/年



農家で肥料にする人糞は、良質な堆肥になり、おいしい野菜となり、東京へ

花畠川

荒川放水路開通で閘門での大渋滞が予測されたため
昭和6年に開通した運河



4

綾瀬川

綾瀬川は埼玉県桶川市に源を発し、埼玉県草加市で古綾瀬川、都県境の花畠地先で伝右川と毛長川を合わせ、葛飾区上平井で中川に合流している埼玉県南部と東京都東部の底平地を流下する流路延長約48km、流域面積約176km²の一級河川です。

江戸時代以前の綾瀬川は『あやしの川』とも呼ばれています。ひと雨降るごとにすぐに流れが変わってしまうほど、河道の定まらない川だったからです。

その『あやしの川』が、江戸時代に入ると幾度かの瀬替えや河川改修によって、田畑に水を送る貴重な用水へと生まれ変わりました。おかげで綾瀬川の流域一帯は、豊かな穀倉地帯となったのです。

また江戸時代の中頃からは、武藏（埼玉）と江戸を結ぶ大切な運河として多くの船が行き交い、賑わいを見せるようになりました。綾瀬川が歌に詠まれるほど人々から親しまれたのは、この運河として発達していた頃のことです。合歓の木が茂る綾瀬川に隅田川から舟で登ってきて、花畠大鷦神社にお参りしたそうです。

綾瀬川の下流にある2つの浄化施設

対岸の八潮市大曾根ビオトープとツイン事業で綾瀬川の浄化を目的に建設されました。足立区桑袋ビオトープ公園は、

① 足立区桑袋ビオトープ公園

2007年に完成。伝右川の汚れた水を浄化して綾瀬川に出す疎間浄化施設も併設していましたが、令和5年、役割を終えたとして撤去されました。



② 八潮市大曾根ビオトープ

八潮市大曾根ビオトープは多自然川づくりによる川の浄化力を期待して造られました。エコロジー夢企画は、「エコ夢探検隊」又は「かいのり隊」を募集して、池の浄化や生物調査をして、見守り活動を続けている河川協力団体です。



5

毛長川

毛長川は川口市赤山地区を源とし、鳩ヶ谷地区の江川と前野宿川の合流地点を起点とし、草加市と足立区の境を東に流れ、伝右川排水機場で綾瀬川に合流する。



伝右川

伝右川は関東代官伊奈半十郎忠治の家臣井手伝右衛門が、低湿地帯であった流域を干拓するため、寛永5年(1628)に開削したとされ、伝右衛門堀とも呼ばれた。さいたま市見沼区に源を発して南東に流れ、川口市、草加市を流れ、東京足立区の伝右川排水機場で綾瀬川に合流する。

7

荒川（荒川放水路）

荒川（現在の隅田川）沿川では、江戸時代にひんぱんに洪水が発生していましたが、明治時代になっても洪水がひん発しました。明治元年(1868)～明治43年(1910)の間に、床上浸水などの被害をもたらした洪水は、10回以上発生しています。その中でも、特に、明治43年の洪水はじん大な被害をもたらしました。

明治43年(1910)の洪水被害をきっかけに、荒川の洪水対応能力を向上させるために荒川放水路の計画が作られました。工事は、翌年から多くの建物や人々に移転してもらって、昭和5年(1930)に完成するまで19年間かかりましたが、長さ22km、川幅約500mの大きな川ができました。

これによって、北区の岩淵水門から下流を隅田川と呼ぶようになり、新しく作った川を荒川（放水路）と呼ぶようになりました。その後も堤防の嵩上げや厚みを増す工事などが行われ、今日まで一度も決壊することなく、東京下町を守ってきました。荒川放水路は2024年で通水100周年を迎えました。



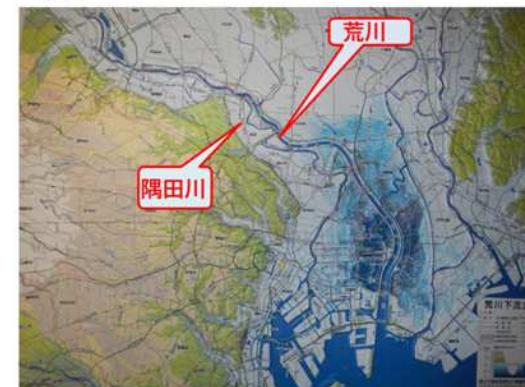
明治43年の洪水足立区千住の様子



川を掘る工事



旧岩淵水門（赤水門）岩淵水門（青水門）



2019年の台風19号
岩淵の青水門が閉じられた



8

花畠川 全長1480m

350m工事中
川をせき止めて散策路
を作っていた



堀川（旧綾瀬川の流れ）



武藏野の森
遊歩道

綾瀬川・伝右川

埼玉県南部と東京都東部の底平地を流下する流路延長約48km、流域面積約176km²の一級河川

足立区桑袋ビオトープ公園



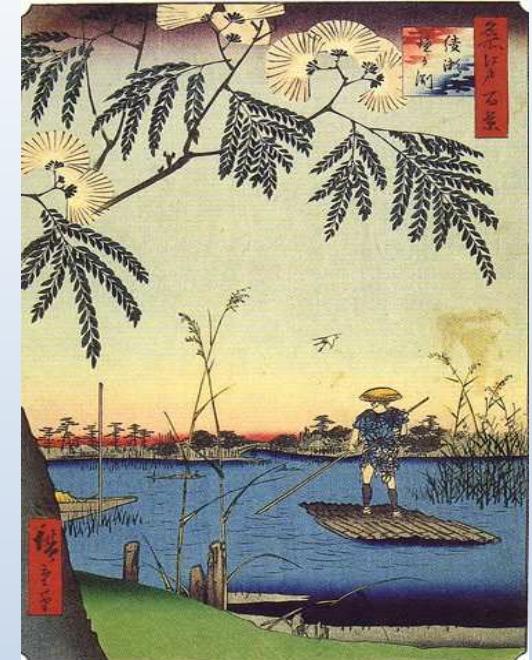
水質検査体験



COD 3mg/L



透視度65.5cm



綾瀬川鐘ヶ淵 歌川広重



荒川（荒川放水路）

明治43年（1910）の洪水被害をきっかけに建設された放水路

昭和5年（1930）に完成するまで19年間かかり、長さ22km、川幅約500mの大きな川ができた



明治43年の洪水足立区千住



川を掘る工事



2019年の台風19号
岩淵水門が閉じられ首都を守った



プロジェクトWET

「驚異の旅」ゲームで
『水』の旅を経験

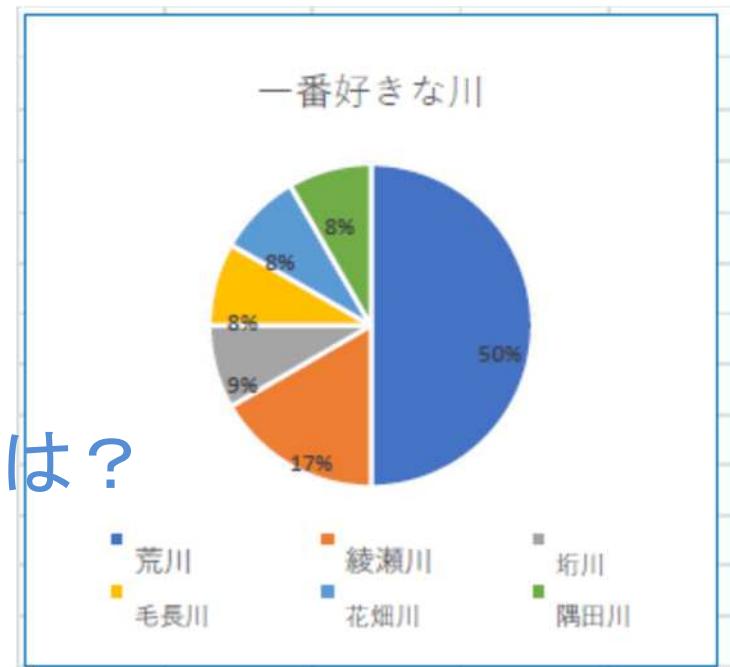
一番好きな川は？

1位 荒川

2位 綾瀬川

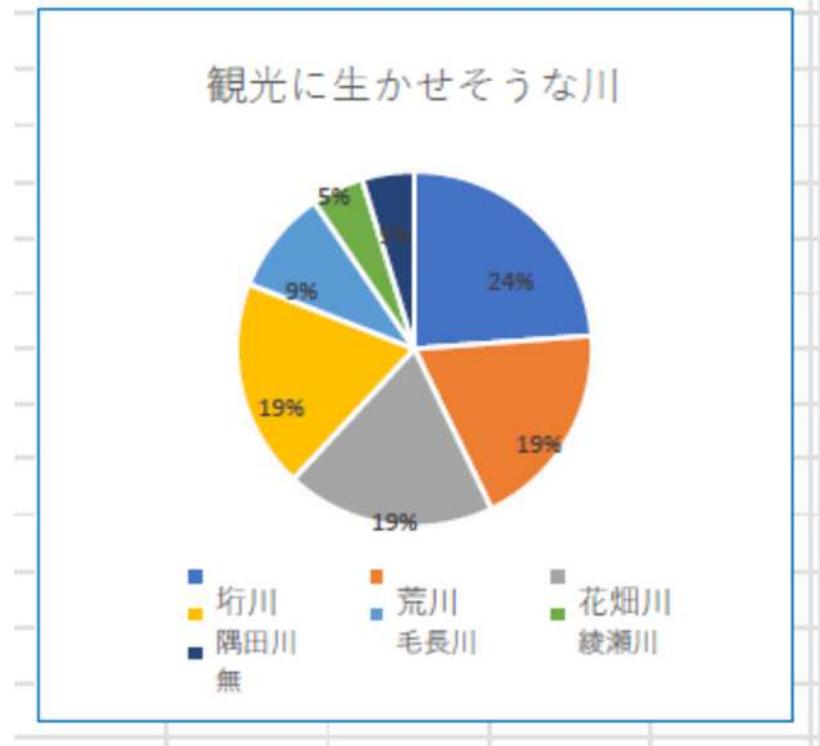
8つの川をめぐって気が付いたことは？

- ・川は全部つながっているということです。
- ・水が全部きれいだった。
- ・それぞれの川が関わり合って存在している事。
- ・綾瀬川・伝右川の水質が良くて驚いた。
- ・足立区にはぐるっと囲まれているだけでなく水運や田畠に必要だったとわかった。
- ・川の水質がとてもよくなっていると感じた。
- ・綾瀬川が思った以上に綺麗で、ウナギもいる事を初めて知った。
- ・綾瀬川・伝右川・毛長川が一か所で交わっていること。



観光に活かせそうな川は？

- ・足立区は川にぐるっと囲まれているだけではなく、水運や田畠に必要だったと実感した
- ・川の流れを見ながら、散策しやすいように整備してみるのもいいと思った。
- ・足立区は川に囲まれているので一周できるサイクリングロードを川沿いに整備するのもいいと思った。
- ・隅田川みたいに舟に乗って舟遊びできるツアーがあると面白いと思った
- ・穴を掘って鉄道も良いが、水運を戻して船での移動が区内で出来れば人を集めることができて楽しい街になると思う
- ・サイクリングできる道があったので自転車をもってこれるよう駐車場がわかりやすいところに何カ所もあればいいと思う
- ・小さい子どもがいてほとんど車移動なので、駐車場の有無で行き先を考えることが多い。
- ・川面にごみ等が無ければもっとカヌーなどで遊べると思った。
- ・自然遊歩道を活かした川づくり。桜並木と休憩所の配置工夫
- ・川遊びが気軽にできるようになるといいなと思う。（荒川へのコメント）
- ・もっと川に近づいて、川を楽しみたい。
- ・スーパー堤防上にも大きな公園があると楽しめる（隅田川へのコメント）



大人のバスツアーセンターハウス

桜と川をめぐる

3.27 THU

9:00-17:00

1名 5,000 円 (資料代・保険料等)

お弁当 (希望者) :1,000円

足立区立綾瀬小学校 正門前集合9時出発 (時間厳守)

葛西用水沿い桜→花畠川河津桜散策路工事見学→堀川 (がけがわ) の夜
→旧中川「江東区川の駅」(昼食タイム) 江東区船番所資料館 (自由見
学) →江戸川区船堀タワー展望台から荒川千本桜→新川散策 (さく
ら館~西水門橋火の見櫓) →綾瀬小学校前で解散

桜をめでながら、川の歴史を学びましょう



旧中川の桜

キャンセル料について

24日 17時まで	0%
26日 17時まで	50%
当日	100%

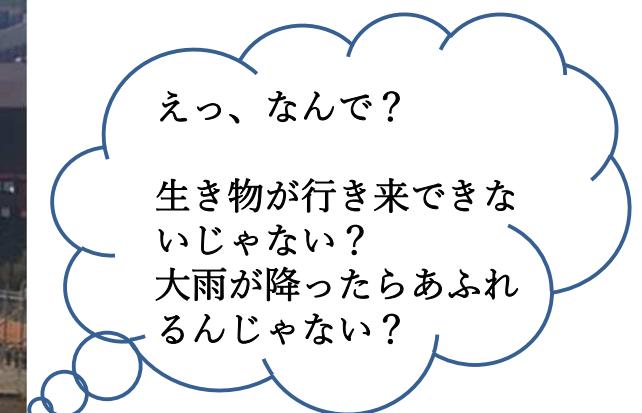
他区の良い川まちづくりを見学しよう！

花畠川の工事見学

31mの水面幅が、17mになり、河津桜を植える工事見学
護岸も1m切り下げ



葛西用水の伏せ越を解説



江東区 旧中川→江東区川の駅・船番所資料館 江戸川区 船堀タワー→新川



船堀タワーから見た荒川

旧中川

川に親しむ工夫が随所に



江東区川の駅



スウェーデンカフェで北欧体験



水陸両用車見学



江東区船番所資料館見学



新川千本桜

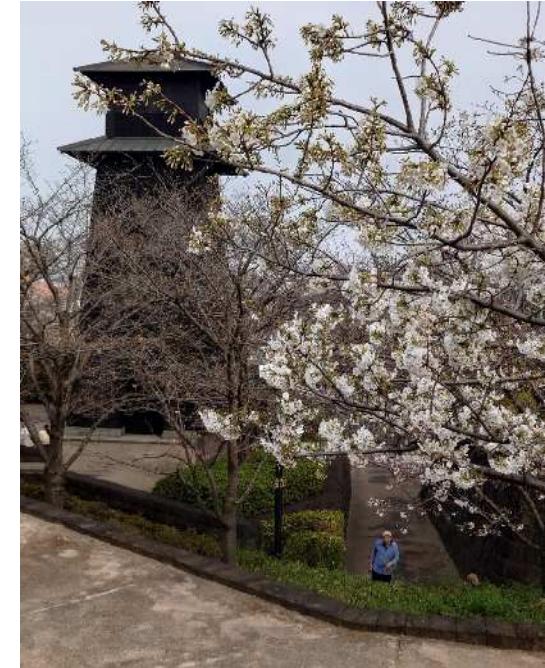


新川環境整備費 約72億円の内、
国庫補助金と財調 約47億円、
区の支出約24億(約3割)



新川

桜はまだだったけれど、様々な工夫にびっくり



新川さくら館で民謡を楽しむ・姉妹都市の農産物販売



柔軟な安全柵の考え方



様々な7つの木橋



舟運モニュメント

ウェルビーイングな川づくり

川とまちをつなぐ視線を育てる

歴史と観光のまちづくり

SDGsな川まちづくり

商店の活性化

カヌーを楽しめる川

世界で広がる泳げる都市の川